

—ひとりでも多くの被害者に補償金支給法を知ってほしい—

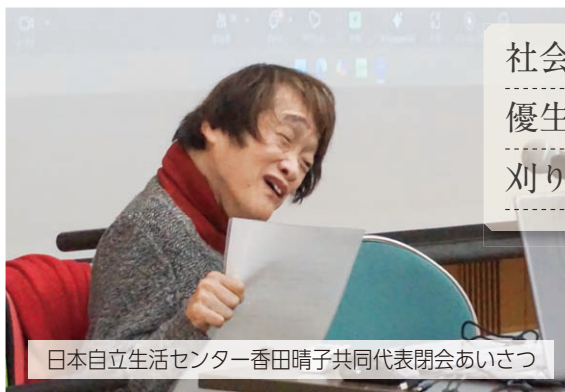
「旧優生保護法補償金支給法学習会」開催!!



オンラインを含む
約100名が参加



和田浩弁護士による補償法の解説



日本自立生活センター香田晴子共同代表閉会あいさつ

社会に植え付けられた
優生思想を少しずつ
刈り取っていきましょう



2025年3月1日(土)、当法人も参画する旧優生保護法による被害者とともに歩む京都の会(略称:歩む京都の会)主催の「旧優生保護法補償金支給法」学習会が開催されました。

被害者弁護団の和田浩弁護士から、厳密な証拠がなく

ても補償金を請求できること、弁護士のサポートを無償で受けられることなどの説明がありました。法人内にも「被害者支援チーム」を設け、補償金申請等の支援をしています。ご相談がある方はお近くの職員にお声かけください。

INDEX

P2「みなみかぜ」ってこんなところ (京都府聴言センター)

P3きこえの森まつり (京都市聴言センター)

P4パン屋の仕事に誇りをもって (いこいの村)

P5「京都 北から南まで」職員紹介

P6「お知らせ」「コラム 思う」(法人事業本部)

別刷 組織図・職員紹介
「法人理念のさらなる追求に向けて」



京都府聴覚言語障害センター

「みなみかぜ」って こんなところ

ろう者、難聴者、盲ろう者が同じ場所に集って
毎日楽しく過ごしています！

生活介護「ひなた」 地域活動支援センター

手芸教室では講師を
招いて作品づくり。
卓球バレーはいつ
も白熱！ボッチャ
ではパラリンピック
選手顔負けでゲームを
楽しんでいます。利用者が
長く元気に通っていただけるよう
体をつかった取り組みを行っています。



2つの会社から
仕事を受託中です。1つ目は建
築会社の様々な資材パーツを加工
しています。2つ目はネットショップ
の流通作業、商品数の確認、バーコ
ードのラベル貼りや出庫作業を
しています。



利用者それぞれが得意な
ことを生かして作業をしていま
す。鞆や着物柄のリュック、ひざ
掛けや手袋、マフラーなどの編物
も作成しています。米袋加工
作業もあります。



就労継続支援B型

カレー、
オムライス、キッシュ、
各種ランチを毎日料理して
います。600冊の絵本があり、
お子様連れに好評です。
ご来店お待ちしております！



主に府センターの
トイレ、通路、研修室など
館内清掃および周辺の草取
り、公用車の洗車を担いま
す。ポリッシャー床磨き、
にも取り組みます。



相楽聴覚言語障害センター仮移転のお知らせ

仮移転期間
(予定)

2025年4月28日～
2027年春頃

現建物新築のため4月28日から、相楽聴覚言語障害センターは、木津川市加茂青少年センター内に仮移転いたしました。電話・FAX番号が新しくなりました。よろしくお願いいたします。

仮移転先

〒619-1152 木津川市加茂町里中森101番地(木津川市加茂青少年センター内)
電話 0774-34-6611 FAX 0774-34-6616



開催！ きこえの森まつり



京都市聴覚言語センター「デイサービスセンターきこえの森」（以下「きこえの森デイ」）では毎年3月の第3週の水曜日から第4週の火曜日までの1週間「きこえの森まつり」を開催しています。

ひとりひとりが 主人公に

「きこえの森デイ」では3年前からスローガンを作っています。『ひとりひとりが主人公に！』『利用者の居場所



ハンドベル演奏

と出番を』『ありがとうと言われる側から言う側に』『選択する権利と喜びを！』このスローガンを念頭に置き、利用者お一人おひとりをよく知り、皆さんが力を発揮できる場を作りたいと年度最後の1週間に「きこえの森まつり」の開催を始め、今年が3度目となりました。

みんなで作り上げる おまつり

「きこえの森まつり」では、曜日ごとに利用者の方々数名が発表しています。今年度は「合唱」（月曜日）「ミッキーマウスダンス」（火曜日）「手話歌」（水曜日）「ハンドベル演奏」（木曜日）「合唱」（金曜日）「花笠音頭」（土曜日）を行いました。発表にあたって、2月の後半から利用者の方々に声をかけて、練習を始めます。「いいよ！やるよ！」と言われる方や「前に出るの



手作りお面でミッキーマウスマーチ

はちよつと…」と言われる方もいらっしゃいます。その方々の気持ちに合わせて、前には出ないけれど一緒に歌ったり踊ったり、また、衣装や飾り付けの準備を手伝っていただいたりとみんなで作り上げてきました。

当日のめくりの演目も利用者の方々に書道で書いてもらいます。一文字一文字に個性が出て、とても味わい深いものが出来上がります。また、ミッキーマウスのお面作り



みんなでズンドコ！



手話で「アイラブユー」

も、絵を描いたり色を塗ったり紙を切ったり、それぞれ得意な方に手伝っていただくなど、たくさんの方が準備に携わります。

また、練習や準備を通して、利用者自身が「私ハーマニカ持つてるし、持ってきて吹くわ」「木琴やってみたい」「この字うまく書けなかったからもう一度書かせて」「手話歌難しいけど楽しい」など積極的に意見を出し、一生懸命取り組んでおられました。

来年に向けての 新たな意欲に

当日は午前中にいつものようにお風呂に入っていただし、最終練習を行い昼食。そして午後から「きこえの森まつり」を開催します。まずは歌に合わせて全員で「ズンドコ体操」を行い、次に利用者の方々の発表。そして利用者個人の発表、または職員担当のクイズ。最後は職員の個人芸やグループ芸を披露します。

職員もそれぞれ当日の発表に向けて練習を重ねます。「マジック」「ダンス」「生け花」「着付け」「演奏」などを披露し、利用者の方々に楽しんでいただきました。

発表が終わったあと、皆さんに感想を伺うと「90にして初めて新たな体験ができてとても楽しかった。」「恥ずかしかったけど楽しかった」などたくさんの方の声をいただきました。また「来年は僕も前に出て歌おうかな」「私も来年は仲の良い3人で歌って踊ろうか話してます」と来年に向けての意欲を見せる嬉しい声もありました。

皆で作り上げ、皆で楽しめる場、来年に向けての新たな挑戦や意欲に繋がられる場を、今後も利用者の方々と共に作り上げられるデイサービスにしていきます。

（介護福祉部 安岡佳子）

就労継続支援B型事業所

『たからの里』は障害者支援施設いこいの村・栗の木寮の分場として2012年に開所し、現在仲間14名が利用しています。国産小麦と天然酵母で作るこだわりのパンは、仕込みから、分割、成形し、石窯と薪、電気オーブンで焼成まで心を込めて作っています。パンは、JAや地域のお店への納品、会社や官公庁等へ販売しています。「楽しみにしていたよ」「ありがとう」と手話を混じえて声かけがあると、仲間も笑みがこぼれます。

次へのステップに向けて



一番ベテランの長尾裕哉さんは、アパートで一人暮らしをしながら通所されています。京都府立ろう学校を卒業

長尾さんの一日

- 5:30 起床・朝食・身支度
- 7:30 自宅出発・バス乗車
- 8:40 たからの里出勤
- 9:00 朝礼で今日の予定を確認
 - ・パン作り（パン丸め、あんこ丸めなど）
 - ・焼きあがったパンを袋に入れる
 - ・明日の仕事の流れを掲示板に書く
- 15:00 終了 帰宅



▲あんぱん・ハート型のちょこっぱぱん・新商品のちょこチーズ



手作りのあんから作るあんぱんは人気！

後調理補助のアルバイトを経て栗の木寮に入所、施設内清掃やクリーニング、厨房での実習などの経験を積み、「仕事に責任をもつ」ことを学ば

パン屋の仕事に誇りをもって



心をこめたパン、みんなに味わってほしい

暮らしを実現させました。様々な工程の中で好きな作業は何かと尋ねると、「あんこや、カレー作りが好き。大きな鍋でぐるぐる混ぜて完成さ

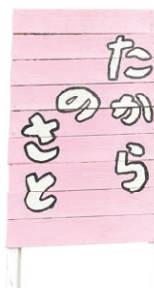
せるのが楽しい」と話されます。あんこから手作りするあんぱんは一番人気です。他にも1g単位で材料を測ったり、パンの成形、焼きあがった



パンに入れるクリームチーズをカットして量ります

たパンを棚に並べたりする時など、とても丁寧な手つきです。裕哉さんの楽しみは、毎年4月に支給されるボーナスで5月の連休に一人旅をすることです。そして、「仕事・一人暮らしにも自信がついたから、一般就労にチャレンジしたい」と新しい目標をもたれています。

いらっやいませ！



これから



たからの里は、働くことを通して、社会参加をしながら、コミュニケーションを通して想いが共有できる場所です。年齢も様々な仲間一人ひとりの目標の実現に向けて、日々の仕事に生きがいをもっています。

（施設第一福祉部 勝山洋子）

法人の応援団 細木 京子さん ～ご冥福をお祈りします～

栗の木寮開所後まもなく、農業班の仲間たちが育てたピーマンの京都生協への出荷が軌道に乗り始めたころ、天災によって畑が全滅し出荷できないことがありました。仲間の給料保障に、と生協に呼び掛けてカンパをしてくださった生協組合員の細木京子さん。その後もいこいの村だけでなく法人にいろんな場面で支援をいただきました。残念ながら2025年1月に逝去されました。空の上から応援し続けてくださいね。



京都 北から南まで

ふない聴覚言語障害センター



災害時に備えて、防災協定を活かしていこう！

ふない聴覚言語障害センターは、南丹市と京丹波町から業務委託を受け、聴覚障害者等への相談業務や手話通訳者及び要約筆記者の派遣業務などを行っています。

2024年6月18日、南丹市では、「災害時における手話等のコミュニケーション支援を必要とする聴覚障害が

い者への支援に関する協定」が締結されました。

南丹市と京都府聴覚障害者協会、丹ブロック、当法人の三者で結ばれました。

協定では、災害



2024年6月18日
南丹市防災協定調印式

い・聞こえにくい方々が、災害時にどんなことが求められているのか、地域のみなさまと一緒に考え合い、備えることができればと考えています。

（ふない聴覚言語障害センター 古賀舞子）

時に、手話等のコミュニケーション支援を必要とする聴覚障害がい者に対し行う情報提供等に関して必要な事項が定められています。

協定はできましたが、具体的にどのように取り組んでいくかは、協定締結の三者に加えて、八木町難聴者の会や手話通訳者会、要約筆記サークルにも加わっていただき、関係者による会議を持ちながら、相談を進めています。

2024年度は、防災に関わる学習会の企画実施や避難所へのコミュニケーションボードの設置などに取り組みました。今後は、防災バンダナの作成、市の防災訓練への参加、防災に関する学習会を継続して実施することとしています。

職員紹介



こんにちは!

京都市聴覚言語障害センター
情報提供施設部

木下 なつ子

(入職2年目)

2024年度に、新規採用で入職しました。中途失聴で、両耳に人工内耳を装用しています。普段のやり取りは音声言語ですが、入職と同時に手話も学び始めました。

言語聴覚士としてきこえの測定相談を行うだけでなく、きこえに関する学習会などを企画する難聴事業、難聴で悩みや不安を抱えている、こどもとその家族をサポートする事業など、幅広く関わっています。

2025年度以降、手話奉仕員養成講座などの事業にも携わり、知識や視点を広げたいです。



あの人は今…!?

京都府聴覚言語障害センター
施設福祉部

呉竹 一人

(入職41年目)

最初に赴任した「いこいの村・栗の木寮」で、利用者と畑へ歩いて出かけ、エンドウ豆やピーマン作りに汗を流した思い出から40年経ちます。

現在は、障害者支援センター「みなみかぜ」の生活支援員として勤務しています。関係団体のみなさまの粘り強い運動で、次々と府内施設の拡充を目の当たりにし、感服しています。

今後も楽しく暮らせる場づくりに励む次第です。

退職者一覧(退職 3月31日付)

◆京都府聴覚言語障害センター

相談支援部	高橋 奈央
北部市町村支援部	木村 公之
北部市町村支援部	村松 充

◆京都市聴覚言語障害センター

情報提供施設部	土岡 紗和子
介護福祉部	岩橋 智恵子
高齢福祉部	山岡 正子
施設福祉部	加藤 典子
施設福祉部	中井 太香恵

施設福祉部

施設福祉部

施設福祉部

辻 貴子

中島 綾子

中嶋 紘乃

◆いこいの村聴覚言語障害センター

総務部

本郷 佳奈美



新しき友

理事長 高田 英一

それは昭和20年2月、小学校2年の終わりの頃でした。食べ物が原因の自家中毒にかかり、折からの応召でかかり付けの医者がいなくなつてそのまま耳が聞こえなくなりました。

間もなく終戦を迎え、あらゆる手を尽くしたものの耳は聞こえるようにならず小学校は中退、人づてに聞いた京都府立ろう学校2年に編入しました。そこで初めて同じように聞こえない終生の友達に会いました。

小山貞夫君、岩村笑子さん、槻瀬健一君たちです。中でも小山君はいつも教室の窓の鍵を掛けて帰るなど責任感の強い子です。

当時のろう学校は建て前として口話教育でしたがしゃべれない子供たちは巧みな手話で話をします。私はしゃべれるだけ

でしたが間もなく自然と手話もうまくなりました。しゃべれる私は劇に主役や学校代表などに選ばれ重宝されました。

岩村(旧姓北村)眞一君、西彰造君などとも洋画を通じて親しくなりました。アン・ブライス、モーリン・オハラ、ヴァージニア・メイヨなどの女優、ヘンリー・フォング、ヴィクター・マチュア、ジョン・ペインと西部劇男優などを、口角泡を飛ばすではなく、手を夢中に振り回して論じました。

ろう学校は私たち耳の聞こえないものに取ってかけがえのない学校でした。そこでは私たちが自然に手話を使えるようになって、お互いのコミュニケーションを交わし、人間とし成長できる場だったのです。

2024年度は26名が合格！



手話検定試験団体受験2024

2月19日(水) 2会場(京都市聴覚言語障害センター、いこいの村)で、法人職員を対象に実施。受験した法人職員は、一年間研修や自宅学習などに取り組みました。

今回のチャレンジは28名。26名(1級6名、2級11名、3級9名)が合格しました！！

2025年度 法人後援会総会

2025年6月22日(日)

11:00 ~ 12:00

京都市聴覚言語障害センター



各事業所の企画や取り組み
SNS発信中！

法人後援会 会員の状況

2024年4月～2025年3月
までにご加入

892名 (新規 84名
継続 808名)

法人へのご寄付 敬称略

2025年1月1日～3月31日

地域	氏名	
北区	池上 琢磨	切手
伏見区	鈴木 さだ子	古着物 2着
右京区	唐土 博美	透明マスク 87個
宇治市	高田 英一	切手
亀岡市	竹谷 靖子	ハギレなど
京丹後市	かぶとく歯科	寄付金 100,000円
京都市	高田 章	寄付金 100,000円

多くの参加がありました！

第51回 耳の日記念集会

2025年3月2日(日)

ガリレアかめおか

参加者 751名

聴言 ニュース

アンケートの
お願い



アンケートフォーム



社会福祉法人

京都聴覚言語障害者福祉協会

法人事業本部 TEL(直通) (0774) 30-9003

京都府聴覚言語障害センター

TEL(0774) 30-9000(代) FAX(0774) 55-7708

京都市聴覚言語障害センター

TEL(075) 841-8336(代) FAX(075) 841-8311

いこいの村聴覚言語障害センター

TEL(0773) 46-0101(代) FAX(0773) 46-0610



ホームページ
はこちらから

詳しくは各事業所、またはホームページで <https://www.kyoto-chogen.or.jp/>